

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画の 中間評価の実施方針等について

平成27年10月30日



沖縄県



# 沖縄振興計画（沖縄県策定）の概要

名称等

## 沖縄21世紀ビジョン基本計画

県民が描く将来像の実現を目指し、県が主体的に策定する計画（平成24～33年度）

目標

自立、交流、貢献を指針とし、我が国の発展に寄与する**新生沖縄**を創造するとともに、  
自然や文化などよき沖縄の価値を高めていく**再生沖縄**に取り組む

### 県民が描く5つの将来像の実現

- \* 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
- \* 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
- \* 希望と活力にあふれる豊かな島
- \* 世界に開かれた交流と共生の島
- \* 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

### 4つの固有課題の克服

- \* 基地問題の解決と駐留軍用地跡地利用
- \* 離島の不利性克服と国益貢献
- \* 海洋島しょ圏 沖縄を結ぶ交通ネットワークの構築
- \* 地方自治拡大への対応

施策展開の基軸等

### 潤いと活力をもたらす 沖縄らしい優しい社会の構築

（県民にやすらぎと活力をもたらし、経済発展を支える）

- \* 子どもが健やかに生まれ育つ環境の整備
- \* 伝統文化の発信・交流・次世代継承
- \* 豊かな自然環境の保全
- \* だれもがいいきと暮らせる生活空間の整備
- \* 沖縄らしい風景・まちなみ創生
- \* 人間優先のまちづくり
- \* 離島・過疎地域を県民全体で支え合う社会の形成
- \* 地域コミュニティの構築
- \* 災害に強い島づくり

など

### 日本と世界の架け橋となる 強くしなやかな自立型経済の構築

（生み出された利益は、優しい社会の構築へ寄与）

- \* アジア規模の経済発展基盤整備
- \* 世界規模の観光リゾート地の形成
- \* 情報通信関連産業の高度化・多様化
- \* 臨空・臨港型産業の集積
- \* 知的・産業クラスターの形成
- \* 文化、スポーツ等を活用した新たな産業の創出
- \* 県民生活を支える中小企業の振興
- \* 農林水産業の振興
- \* 雇用対策と多様な人材の確保

など

好循環



# 沖縄21世紀ビジョン基本計画・実施計画の中間評価

## 沖縄21世紀ビジョン基本計画

### 【第6章2（2）計画の進捗管理等 《抜粋》】 （～前略～）

計画で設定した指標の達成状況を中心に、施策等の点検・評価  
を全庁的に行い、その結果に応じて計画の見直し・改善を行います。  
このような企画(Plan)・実施(Do)・評価(Check)・改善(Action)の  
PDCAサイクルを確立し、計画の効果的な推進を図ります。

また、中間地点である5年目を目途に、行政評価等の結果を踏ま  
えた基本計画及び実施計画の評価を実施し、必要に応じて基本計画  
の改定や後期の実施計画に反映させるとともに、

（～後略～）

※実施計画第5章  
「実施計画の推進」にも左記  
と同じ主旨の記載あり。

沖縄県PDCA  
（毎年度実施）

活用

中間評価  
（5年目を目途に実施）

## 基本計画及び実施計画の5年目（H28年度）を目途に評価を行う。

- ◆評価にあたっては、毎年度のPDCA結果や社会経済情勢の変化等を反映する。
- ◆沖縄振興特別措置法に基づく制度等、沖縄振興交付金等についても評価を実施する。



# 沖縄21世紀ビジョンの体系と中間評価方法について

## 21世紀ビジョン

将来像  
5

基本計画  
(計画期間10年間(H24~H33))

基本施策  
36

施策展開  
118

実施計画  
(計画期間 前期5年、後期5年)

施策  
247

主な取組  
(1,863)

PDCA(毎年度)

### <中間評価手順>

中間評価にあたっては、①実施計画の評価・点検を実施し、  
②その結果を踏まえ、基本計画の中間評価を行う。

### 基本計画の評価方法

- ①実施計画の評価・点検結果を反映
- ②『施策展開』ごとの成果・課題・今後の展開方向を『基本施策』単位で総括

これまでの成果(P・D)

新たな課題等(C)

今後の展開方向(A)

### 実施計画の評価・点検方法

- ①毎年度の沖縄県PDCA結果を活用
- ②『主な課題』の解消状況、「成果指標」の達成状況等  
を評価・点検し、「施策展開」単位で総括

取組効果(P・D)

課題・成果指標の状況等(C)

今後の施策展開等(A)

※ ( ) は、平成27年3月現在の構成数

